

## 愛車の空間を、内側から守ります。

専門機関が認定した優れた抗菌・抗ウイルス・防カビ・防臭・アレル物質の低減効果を備え、愛車の室内空間を長期にわたりケアする「IGスプレー」。

特殊バインダーを配合することで、乾燥後や、摩擦後、洗浄後でも効果を持続します。

手の届かない車内のすみずみまで、しっかり効果が行きわたります。



### IGスプレーの主な特徴



#### 抗菌性

コーティング面において、細菌の増殖を抑制する効果が確認されています。



#### 抗ウイルス性

エンベロープウイルス、ノンエンベロープウイルス共に高い効果を示します。



#### 防カビ性

カビを死滅させて、増殖を防ぎます。またカビ由来の臭いを防ぎます。



#### 防臭性

菌由来、カビ由来の臭いを防ぎます。



#### アレル物質の低減

スギ花粉やダニのフンといったアレル物質を90%以上低減する効果が確認されています。

- 無機系成分と有機系成分のハイブリッド配合により、幅広い菌・ウイルス・カビ・アレル物質に対して高い効果を発揮します。
- 特殊バインダー配合により施工面に強く定着し、長期間効果を発揮します。
- アルコール系製品では効果が出にくい乾燥状態でも効果を発揮します。
- 光触媒系製品では効果が出にくい暗所でも高い効果を発揮するので、光の当たりにくい足元部分や、車庫の中でも効果を発揮します。

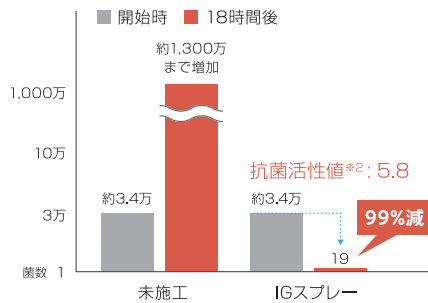
## IGスプレーの効果(持続性/乾燥後の効果/カビ発育抑制効果)

IGスプレーを施工したクロスを5回工業洗濯後、3600回摩擦後\*1でも抗菌効果が持続していることが確認されました。

試験方法:JIS L1902:2015、菌液吸収法。

試験菌種:黄色ブドウ球菌

摩擦方法:JIS L 1096 E 法準用 3600回 押圧過重:12kPa (一財)カケンテストセンターにて実施



\*1:1日10回乗降り計算で1年相当

\*2:抗菌活性値2.2以上で抗菌防臭効果あり

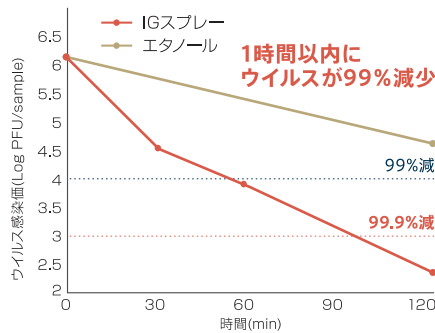
\*上記のグラフは3600回摩擦後のデータになります。

\*すべての菌に対しての効果を保証するものではありません。

IGスプレーは乾燥後も抗ウイルス効果が持続していることが確認されました。

試験方法:SUS板に液剤を含浸させた布を使って、液剤を塗布。その後、乾燥させ、ウイルス液を滴下、フィルム積層をし、洗い出しブラック試験実施。

試験ウイルス:ネコカリシウイルスF9

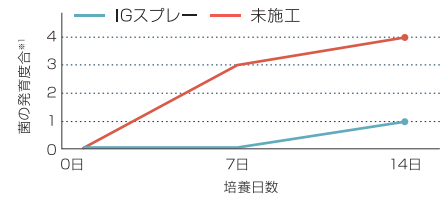


\*すべてのウイルスに対しての効果を保証するものではありません。

IGスプレーを施工した綿布において71菌種に対し、14日間(1年相当)後も高いカビ発育抑制効果が確認されました。

試験方法:MIL STD 810D Method 508・3変法準拠

試験菌種:真菌71種 試験期間:14日間



14日後、試験終了時の綿布のカビ発育状況画像

\*1:評価方法

0:全く菌が発育しない 1:10%以下の発育

2:10~30%以下の発育 3:30~60%以下の発育

4:60%以上の完全発育

\*すべての真菌に対しての効果を保証するものではありません。

## IGスプレーの安全性

試験項目	試験結果	試験機関
急性経口投与毒性試験	最小致死量(LD50値)は>2000mg/kg	(一財)食品薬品安全センター-秦野研究所、(一財)日本食品分析センター
眼粘膜刺激性試験	眼組織(角膜・虹彩・結膜)に対して刺激性なし	(一財)食品薬品安全センター-秦野研究所
皮膚一次刺激性試験	刺激反応は認められない	(一財)食品薬品安全センター-秦野研究所
皮膚感作性試験	皮膚感作性:陰性	(一財)食品薬品安全センター-秦野研究所 Safe Pharm Laboratories (英国)
変異原性試験	遺伝子突然変異誘発性:陰性	(一財)食品薬品安全センター-秦野研究所 Safe Pharm Laboratories (英国)
細胞毒性試験	スコア:2(陽性:3以上)塗布した不織布において	Nelson Laboratories, LLC

お客様からよくいただくご質問とそれに対する回答をまとめております。

Q. 臭いは残りますか?

A. 施工直後、アルコールとガスの臭いがしますが、換気後は、臭いはありません。

Q. 車内のシートに色がついたり、質感を変えたりしますか?

A. 色がついたり、質感を変えたりすることはありません。

Q. 新型コロナウイルス(COVID19)には効果がありますか?

A. 配合成分にて行った試験で新型コロナウイルス(COVID19)に対しての効果を確認されております。

\*試験室での評価であり、実使用環境での効果を保証するものではありません。

Q. どれくらい効果が持続しますか? どれくらいの頻度で施工すればいいですか?

A. 6ヶ月~1年ごとの施工をお勧めしております。施工したファブリックを5回洗濯した後、1年相当(3600回)摩擦した後も、抗菌効果を確認しております。

Q. 安全性は大丈夫ですか?

A. 各種試験(急性経口投与毒性試験・眼粘膜刺激性試験・皮膚感作性試験 etc)にて安全性が確認されております。

### 使用上の注意

●指定した用途以外に使用しないで下さい。●吸入/飲用不可 人体に害があるので、吸入したり飲用しないで下さい。●目に入ると炎症を起こす恐れがありますので、保護メガネを着用し、取り扱いには十分注意して下さい。●皮膚の弱い方や長時間使用する場合は炎症を起こす恐れがありますので、保護手袋を着用して下さい。●子供の手の届くところには置かないで下さい。●車内に放置しないで下さい。高温にすると破裂する恐れがあるので、直射日光の当たるところや40℃以上には置かないで下さい。また炎や火気の近くで使用しないで下さい。●作業は通気の良い場所で行って下さい。●危険有害性情報詳細については安全データシート(SDS)を参照下さい。